

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

アジア経済概況（2009年7・8月）

【目次】

・ 中華圏・韓国	
1. 中国経済の概況・・・4～6月期のGDP成長率は7.9%に回復	... p.1
2. 中国の主要指標解説：2兆ドルを上回った外貨準備	... p.3
3. 台湾経済の概況・・・景気に持ち直しの兆し	... p.4
4. 韓国経済の概況・・・4～6月期は前年比 2.5%成長に持ち直し	... p.5
・ ASEAN・インド	
1. タイ経済の概況・・・景気減速続くも一部に持ち直しの兆し	... p.6
2. インドネシア経済の概況・・・景気に下げ止まりの兆し	... p.7
3. マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標	... p.8
4. ベトナム経済の概況・・・1～6月期の成長率は3.9%に持ち直し	... p.9
5. インド経済の概況・・・景気に下げ止まりの兆し	... p.10
・ アジア通貨・株価動向	... p.11



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

調査部

【お問い合わせ先】海外経済班

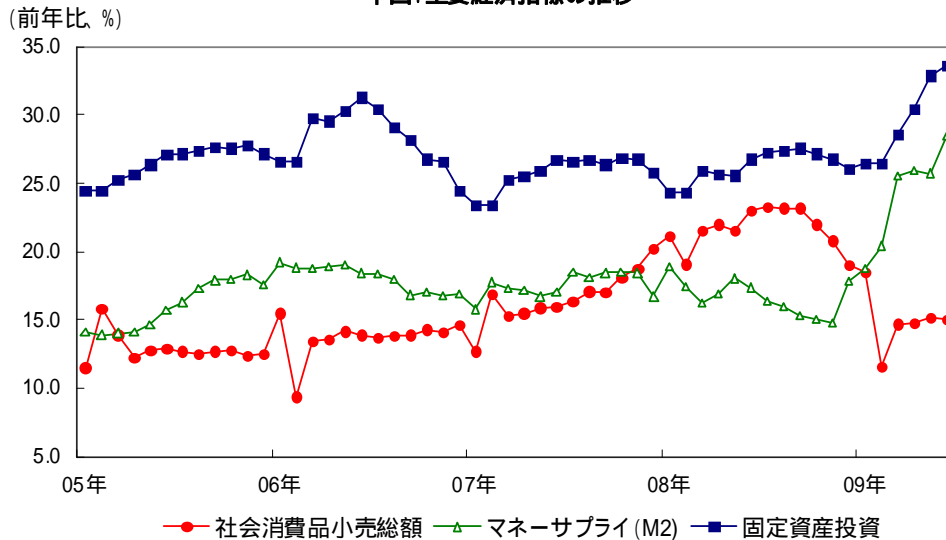
野田 (mariko.noda@murc.jp)

・ 中華圏・韓国

1 . 中国経済の概況

- ・ 景気は回復傾向にある。金融・財政の両面からの景気テコ入れ策を背景に、4～6月期の実質GDP成長率は前年比7.9%と1～3月期の同6.1%から大幅に加速した。
- ・ 1～6月期の都市部の固定資産投資は鉄道、高速道路などインフラ建設を中心に名目ベースで前年比33.6%増、物価で調整した実質ベースで同36.2%と大幅に増加している。
- ・ また6月の消費（社会消費品小売総額）は名目ベースで前年比15.0%増、物価を調整した実質ベースで同17.3%増と堅調な拡大が続いている。特にこれまで農村部に遅れを取っていた都市部の消費が6月には実質ベースで同17.4%増と農村部（同17.3%増）並みの増加ペースとなってきた点が注目される。
- ・ こうした内需の堅調を反映して、6月の鉱工業生産（付加価値額ベース）は前年比10.7%増に拡大。前年比マイナスが続いていた発電量も同5.6%増に持ち直した。
- ・ 一方、6月の輸出は前年比21.4%減と依然として前年比二桁減が続いているが、減少幅はやや縮小しており、製造業購買担当者指数（PMI）の新規輸出受注が5月以降50%水準を上回っているのと平仄の取れた動きとなっている。ただし、貿易指数を見ると輸出単価の前年比マイナス幅が徐々に拡大しており、値引き攻勢で受注を下支えしている可能性が示唆される。
- ・ 銀行貸出の拡大を背景にマネーサプライは6月も前年比28.4%増と大幅な拡大が続いているが、消費者物価は食品価格の下落から前年比マイナスで推移している。

中国：主要経済指標の推移



(注) 固定資産投資は年初からの累計の前年比、各年1月と2月は1～2月の前年同期比(同値)をプロット。
(出所) C E I C

【中国・香港の主要経済指標】

【中国・香港の主要経済指標】

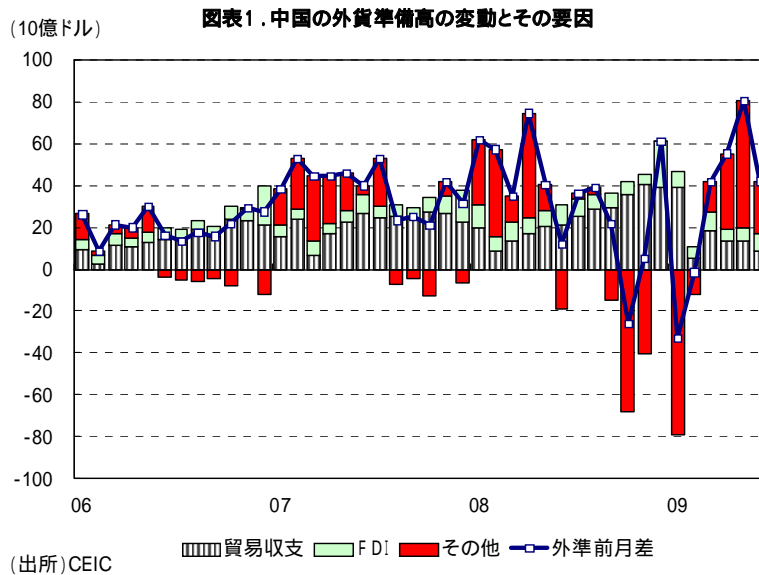
			2006年	2007年	2008年	08/3Q	08/4Q	09/1Q	09/2Q	09/3月	09/4月	09/5月	09/6月		
中国	GDP	実質GDP成長率 (累計ベース)	前年比%				9.0	6.8	6.1	7.9					
			前年比%	11.6	13.0	9.0	9.9	9.0	6.1	7.1					
		名目GDP成長率 (累計ベース)	前年比%	15.7	21.4	16.9	19.3	16.9	3.6	3.8					
	消費	社会消費品小売総額	前年比%	13.7	16.8	21.6	23.2	20.6	15.0	15.0	14.7	14.8	15.2	15.0	
			うち市	前年比%	14.3	17.2	22.1	23.9	20.4	14.1	14.7	13.7	13.9	15.0	15.1
			うち県	前年比%	13.3	17.3	22.8	24.5	22.5	18.0	15.8	18.0	16.6	15.6	15.2
			うち県以下	前年比%	12.3	15.0	19.5	20.3	19.9	16.4	15.8	16.4	16.7	15.7	14.9
		自動車販売台数	前年比%	24.8	22.3	6.6	1.9	8.2	3.6	31.6	5.0	25.0	34.0	36.5	
		うち乗用車(セダン、SUV他)	前年比%	29.6	22.3	7.1	0.5	4.0	7.5	44.1	10.3	37.4	46.8	48.4	
		消費者自信指数	期中平均	94.7	96.5	93.2	93.9	90.0	86.4	86.4	86.0	86.1	86.7	86.5	
		消費者期待指数	期中平均	97.2	99.1	95.3	96.2	90.9	86.5	86.8	85.9	86.5	87.1	86.9	
		投資	固定資産投資(都市部・50万円以上;年初末累計)	前年比%	24.5	25.8	26.1	27.6	26.1	28.6	33.6	28.6	30.5	32.9	33.6
				うち不動産・居住用建物	前年比%	25.4	32.2	23.0	29.2	23.0	8.0	15.3	8.0	10.0	12.7
	うち国内企業			前年比%	25.0	26.1	27.3	28.6	27.3	32.6	37.5	32.6	34.6	36.8	37.5
	うち製造業			前年比%	29.4	34.8	30.6	33.4	30.6	27.3	29.3	27.3	29.0	29.9	29.3
	うち鉄鋼		前年比%	2.5	12.2	23.8	29.2	23.8	6.4	4.6	6.4	0.1	0.2	4.6	
	うち輸送機械		前年比%	25.2	38.5	39.1	43.6	39.1	32.0	36.7	32.0	35.5	38.1	36.7	
	うち電気機械		前年比%	45.6	44.9	45.1	45.2	45.1	58.3	50.5	58.3	57.8	60.6	50.5	
	うち情報通信機器		前年比%	38.7	24.3	17.6	16.7	17.6	2.4	2.9	2.4	0.6	2.6	2.9	
	直接投資契約件数(累計ベース)		前年比%	5.8	8.7	27.3	26.3	27.3	34.5	28.4	34.5	34.2	33.8	28.4	
	直接投資実行額(累計ベース)		前年比%	0.4	14.9	29.7	39.8	29.7	20.6	17.9	20.6	21.0	20.4	17.9	
	不動産景気指数	期中平均	102.5	103.9	102.2	101.8	98.2	95.2	95.8	94.7	94.8	95.9	96.6		
	貿易及び外貨準備	貿易収支	10億ドル	177.5	262.0	297.3	83.3	114.3	62.5	34.9	18.6	13.1	13.4	8.3	
		輸出(ドルベース)	前年比%	27.2	25.7	17.3	23.0	4.3	19.7	23.4	17.1	22.6	26.3	21.4	
		輸入(ドルベース)	前年比%	19.9	20.8	18.4	25.7	8.9	30.8	20.2	24.9	22.8	24.8	13.0	
		対米貿易収支	10億ドル	144.3	162.9	170.8	51.5	44.1	29.0	33.2	10.3	10.6	11.0	11.6	
		対日貿易収支	10億ドル	24.0	31.8	34.6	11.8	3.6	2.3	9.3	1.4	2.8	2.0	4.5	
		外貨準備	期末10億ドル	1066.3	1528.2	1946.0	1905.6	1946.0	1953.7	2131.6	1953.7	2008.9	2089.5	2131.6	
	生産	鉱工業付加価値額	前年比%	16.2	17.3	13.0	13.0	6.4	9.7	9.0	8.3	7.3	8.9	10.7	
		うち国有企業	前年比%	12.1	13.2	9.0	9.6	1.5	3.2	3.5	2.7	2.3	2.4	5.7	
うち株式会社企業		前年比%	17.4	19.1	15.0	15.1	7.7	12.5	11.2	10.7	9.4	11.1	13.0		
うち外商・港台企業		前年比%	16.7	16.1	10.1	9.9	2.3	3.4	3.5	3.0	1.7	3.6	5.3		
発電量		前年比%	14.7	15.7	6.7	6.7	6.0	4.3	0.4	2.2	3.6	3.2	5.6		
製造業購買担当者指数(PMI)		%	54.5	55.0	50.2	49.3	41.5	48.9	53.3	52.4	53.5	53.1	53.2		
うち新規受注		%	59.0	59.1	50.3	47.8	37.1	50.0	56.1	54.6	56.6	56.2	55.5		
うち雇用	%	50.8	51.3	49.5	50.5	44.9	45.9	50.1	48.6	50.3	49.9	50.1			
うち新規輸出受注	%	56.8	55.9	47.2	48.0	33.7	41.5	50.2	47.5	49.1	50.1	51.4			
所得	都市一人当たり所得(累計ベース)	前年比%	12.4	17.2	14.5	12.1	14.5	12.0	11.6						
	労働力市場求人倍率	期末	0.96	0.98	0.85	0.97	0.85	0.86							
	第二次産業/全産業求人比率	期末%	31.3	37.1	34.7	38.0	34.7	38.4							
物価	消費者物価指数	前年比%	1.5	4.8	5.9	5.3	2.5	0.6	1.5	1.2	1.5	1.4	1.7		
	うち食品	前年比%	2.3	12.4	14.6	11.5	6.2	0.5	1.0	0.7	1.3	0.6	1.1		
	うち家庭設備・家庭用品	前年比%	1.2	2.0	2.8	3.2	3.1	2.1	0.5	1.5	0.9	0.5	0.1		
	生産者物価指数	前年比%	3.0	3.1	6.9	9.7	2.5	4.6	7.2	6.0	6.6	7.2	7.8		
金融	マネーサプライ(M2)	前年比%	17.0	16.7	17.8	15.2	17.8	25.4	28.4	25.4	25.9	25.7	28.4		
	インターバンク金利(翌日物)	期中平均%	1.86	2.13	2.31	2.62	1.93	0.83	0.84	0.81	0.82	0.81	0.88		
	株価指数(上海総合)	期末	2,675	5,262	1,821	2,294	1,821	2,373	2,959	2,373	2,478	2,633	2,959		
	為替レート(元/ドル)	期中平均	7.96	7.58	6.93	6.84	6.84	6.84	6.83	6.83	6.82	6.83	6.83		
	為替レート(円/元)	期中平均	14.6	15.5	14.8	15.6	13.9	13.9	14.2	14.5	14.6	13.9	14.1		
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%	7.0	6.4	2.4	1.5	2.6	7.8						
		うち民間消費	前年比%	5.9	8.5	1.5	0.2	4.1	5.5						
		うち固定資本形成	前年比%	7.1	3.4	0.5	2.9	17.8	12.6						
	名目GDP成長率	前年比%	6.7	9.5	3.9	3.5	2.6								
	消費	小売販売数量指数	前年比%	5.6	10.4	4.7	4.0	2.8	6.7		7.5	4.7	5.5		
	不動産	不動産価格指数	前年比%	0.7	11.7	16.4	18.5	4.6	13.6		13.7	9.3	8.6		
		うち家屋160㎡超(香港島)	前年比%	4.8	17.3	13.7	16.4	13.9	18.4		17.7	17.3	12.4		
		不動産販売取引件数(香港域内)	前年比%	20.2	49.8	22.4	36.1	68.7	55.4		25.6	8.9	42.3		
	貿易	貿易収支	10億HKドル	138.8	183.2	201.6	48.4	34.2	34.2	43.8	18.2	16.4	11.0	16.5	
		輸出(香港ドルベース)	前年比%	9.3	9.3	5.1	5.5	2.1	21.9	12.9	21.1	18.2	14.5	5.4	
輸入(香港ドルベース)		前年比%	11.5	10.5	5.4	6.8	4.2	22.8	14.9	22.7	17.0	19.2	7.9		
物価	消費者物価指数	前年比%	2.0	2.0	4.3	4.6	2.3	1.7	0.1	1.2	0.6	0.1	0.9		
金融	マネーサプライ(M3)	期末%	15.5	20.6	2.6	1.9	2.6	4.2		4.2	4.3				
	ハンセン指数	期末ポイント	19,965	27,813	14,387	18,016	14,387	13,576	18,379	13,576	15,521	18,171	18,379		

(出所) CEIC

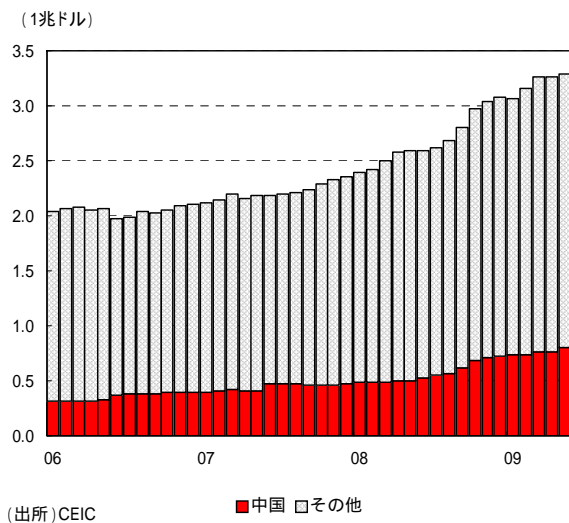
2. 中国の主要指標解説：2兆ドルを上回った外貨準備

中国の外貨準備高が今年4月に2兆ドルを上回り、6月末には2兆1316億ドルに達している。昨年のリーマン・ショック以降は10月、1月、2月と大幅な貿易黒字を計上しながらも外貨準備高が前月比で減少に転じた月もあった。しかし、今年3月以降は貿易黒字の縮小傾向の下で外貨準備高の増加が続いている（図表1）。中国人民銀行の金融調節などに加えて、海外から再び投機資金が流入している可能性が示唆される。

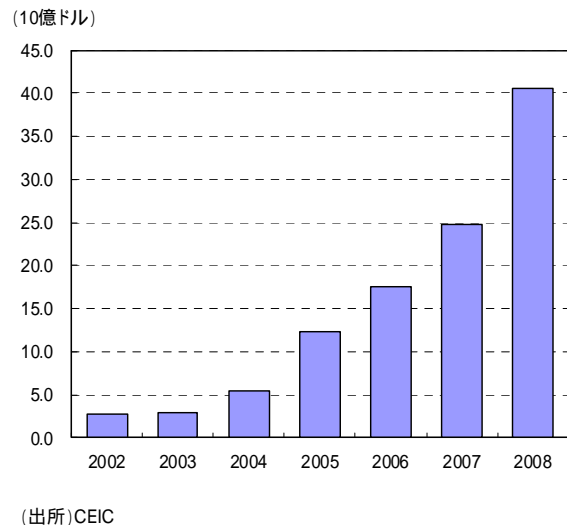
こうした中で巨額の外貨準備の運用が中国にとって新たな課題となっている。すでに5月末段階で中国の米国債の保有残高は8000億ドル超、非居住者による米国債保有残高の4分の1を占めるに至っている（図表2）。先日、中国政府が企業の直接投資を通じた外貨準備の運用先の分散化を検討していると報じられた。Made in China 製品に続いて中国マネーも海外市場に広がる可能性が出てきた。



図表2. 米国債非居住者保有残高の推移

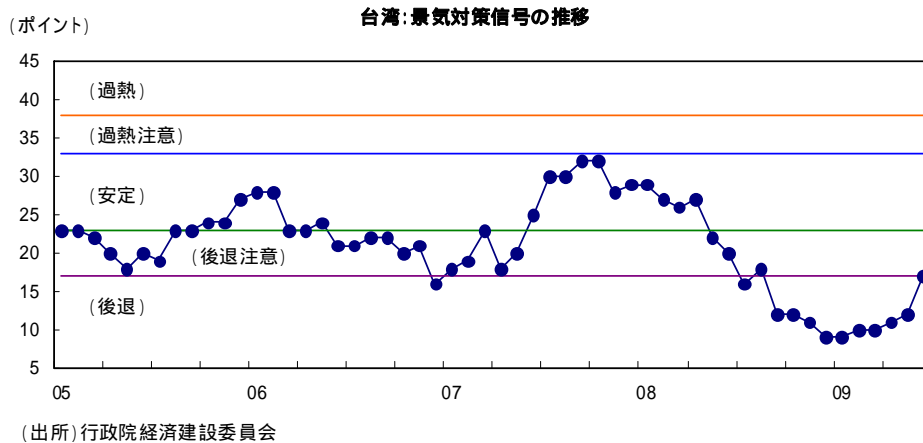


図表3. 中国の対外直接投資額(除く金融)の推移



3. 台湾経済の概況

- ・ 景気に持ち直しの兆しが見える。
- ・ 6月の輸出は前年比30.4%減と依然として前年比3割超の大幅な減少が続いているが、減少幅は縮小傾向にあり、ゆっくりと持ち直しつつあると見られる。実際、6月の輸出受注は前年比10.9%減と減少幅が大幅に縮小しており、輸出の持ち直し傾向は今後も続きそうだ。同様に生産も6月が前年比11.4%減と依然として前年比二桁減が続いているものの、減少幅は足元、大きく縮小しており、5月に5.9%に上昇した失業率も今後、改善に向かうと見られる。
- ・ こうした状況を反映して、6月の景気対策信号は17と前月より5ポイント改善し、景気信号も「安定」と「後退」の間である「黄青」が点灯した。景気は最悪期を脱し、持ち直し局面に入ったと見られる。



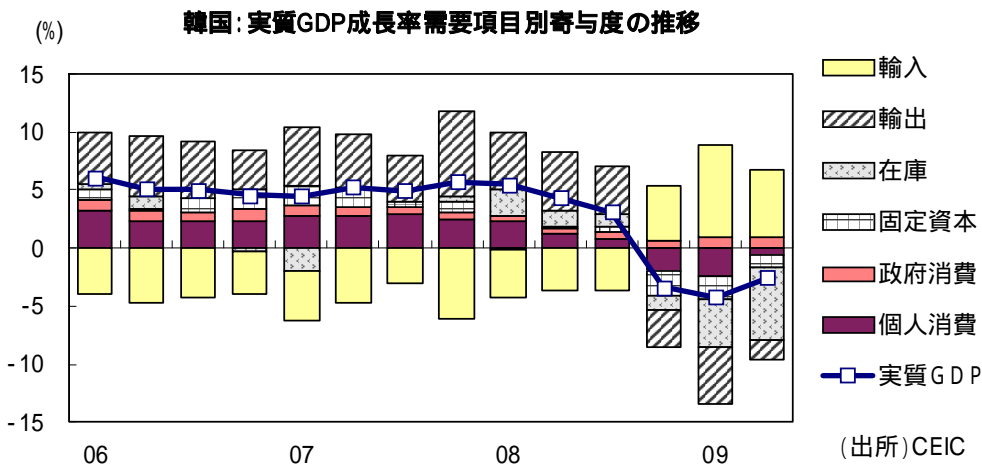
台湾の主要経済指標

		2006年	2007年	2008年	08/3Q	08/4Q	09/1Q	09/2Q	09/3月	09/4月	09/5月	09/6月
GDP (yoy)	実質GDP	4.8	5.7	0.1	1.0	8.6	10.2					
	うち民間消費	1.8	2.3	0.3	2.1	1.7	1.4					
	うち総固定資本形成 (うち民間企業)	0.9	1.9	10.6	11.8	22.6	33.8					
生産	鉱工業生産 (yoy)	4.7	7.8	1.8	0.5	24.2	32.4	16.6	25.8	20.0	18.4	11.4
消費	卸小売販売指数 (yoy)	2.4	1.4	2.3	4.4	7.4	6.9	0.6	5.5	1.4	2.4	5.8
貿易及び 対外 関連	貿易収支 (10億ドル)	21.3	27.4	15.2	0.7	6.5	8.5	7.1	3.4	2.1	3.2	1.8
	輸出 (yoy)	12.9	10.1	3.6	8.0	24.7	36.7	32.0	35.8	34.3	31.4	30.4
	輸出受注 (yoy)	16.7	15.5	1.7	4.6	22.2	29.7	17.3	24.3	20.9	20.1	10.9
	輸入 (yoy)	11.0	8.2	9.7	19.7	23.0	47.2	37.8	49.5	41.1	39.1	33.5
	経常収支 (10億ドル)	26.3	33.0	24.6	1.9	7.6	13.0					
雇用	失業率 (季調値)	3.9	3.9	4.1	4.1	4.7	5.6	5.8	5.7	5.8	5.8	5.9
物価	消費者物価 (yoy)	0.6	1.8	3.5	4.5	1.9	0.0	0.8	0.1	0.5	0.1	2.0
金融	マネーサプライ (M2, yoy)	5.3	0.9	7.0	3.1	7.0	6.6	8.2	6.6	6.7	7.5	8.2
	株価指数 (加権指数)	7,824	8,506	4,591	5,719	4,591	5,211	6,432	5,211	5,993	6,890	6,432
	短期金利 (オパールナイト)	1.56	1.97	1.93	2.14	1.40	0.17	0.11	0.14	0.13	0.10	0.10
	為替レート (NTドル/ドル)	32.5	32.8	31.5	31.2	33.0	34.0	33.1	34.3	33.7	32.9	32.8
	為替レート (円/NTドル)	3.58	3.59	3.28	3.45	2.91	2.76	2.94	2.85	2.94	2.94	2.95

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)、貿易統計は再輸出と再輸入を加算した新ベース。

4. 韓国経済の概況

- ・ 景気に持ち直しの兆しが見える。4～6月期の実質GDP成長率（速報値）は前年比 2.5%と前期（同 4.2%）から大幅に持ち直した。輸出のマイナス寄与が大きく縮小したほか、消費や投資も政府の景気対策を受けてマイナス幅が縮小している。こうした中で韓国中銀は今年の成長率見通しを 2.4%から 1.6%に上方改訂。また7月9日には5ヶ月連続で基準金利の据え置き（2.0%）を決めた。
- ・ 6月の輸出は前年比 12.4%減と減少幅が大幅に縮小した。これは前年6月の輸出がストの影響で鈍化した反動に加えて、主力商品の単価が上昇したことなどが要因と指摘されている。
- ・ また、景気の持ち直し傾向を受けて4～6月期の対内直接投資が前年比 62.0%増えるなど海外からの資金流入も増加傾向にある。



韓国の主要経済指標

		2006年	2007年	2008年	08/3Q	08/4Q	09/1Q	09/2Q	09/3月	09/4月	09/5月	09/6月
GDP (yoy)	実質GDP	5.2	5.1	2.2	3.1	3.4	4.2	2.5				
	うち民間消費支出	4.7	5.1	0.9	1.4	3.7	4.4	1.1				
	うち固定資本形成	3.4	4.2	1.7	1.8	7.3	8.1	4.0				
	うち設備	8.2	9.3	2.0	4.3	14.0	23.5	17.2				
生産	鉱工業生産(yoy)	8.4	6.9	3.1	5.6	11.3	15.5		10.5	8.2	9.0	
消費	小売売上高(数量,yoy)	4.0	5.0	1.0	1.4	4.2	4.9		5.2	3.9	1.7	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	16.1	14.6	13.3	7.9	1.5	3.3	17.8	4.2	5.6	4.9	7.3
	輸出(yoy)	14.4	14.1	13.6	27.0	9.9	25.0	20.4	22.1	19.8	28.6	12.4
	輸入(yoy)	18.4	15.3	22.0	42.8	9.0	32.8	36.2	35.7	35.4	40.1	32.9
	経常収支(10億ドル)	5.4	5.9	6.4	8.6	7.5	8.6	13.2	6.6	4.2	3.5	5.4
雇用	失業率(季調値)	3.5	3.2	3.2	3.2	3.2	3.5	3.9	3.7	3.7	3.9	4.0
物価	消費者物価(yoy)	2.2	2.5	4.7	5.5	4.5	3.9	2.8	3.9	3.6	2.7	2.0
金融	マネーサプライ(New M2,yoy)	12.5	10.8	12.0	13.5	12.0	11.5		11.5	9.7	10.0	
	株価指数(総合)	1,434	1,897	1,124	1,448	1,124	1,206	1,390	1,206	1,369	1,396	1,390
	CDレート(3ヵ月物)	4.48	5.16	5.49	5.69	5.44	2.79	2.41	2.45	2.42	2.41	2.41
	為替レート(ウォン/ドル)	955	929	1,100	1,064	1,364	1,413	1,287	1,462	1,341	1,259	1,261
	為替レート(円/100ウォン)	12.2	12.6	9.2	9.8	7.1	6.7	7.4	7.1	7.2	7.6	7.5

(出所)CEIC

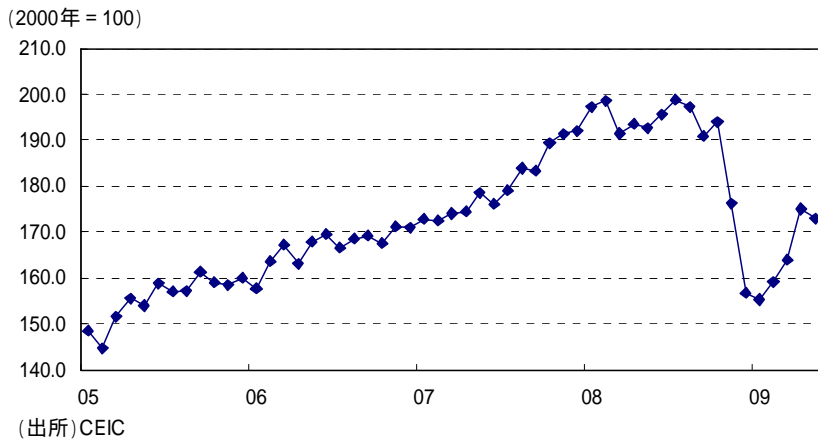
(注)yoy=前年比(%)

・ A S E A N ・ イ ン ド

1 . タイ経済の概況

- ・ 景気は引続き減速しているが一部に持ち直しの兆しも見える。タイ中銀は 7 月 24 日発表の「インフレ・レポート」の中で、今年の成長率見通しを前回（4 月）時点の 3.5% ~ 1.5% から 4.5% ~ 3.0% に下方修正した。これは 1 ~ 3 月期の実質 GDP 成長率が前年比 7.1% と予想より大幅なマイナスだったため、足元では大幅に削減された在庫を一部積み増す動きが見られるほか、海外からの新規受注を受けて、製造業生産は持ち直しつつある、と中銀は指摘している。
- ・ タイ中銀は 7 月 15 日、現在の金利水準は十分に緩和的であるとして、政策金利を 1.25% に据え置いた。金利据え置きは前回（5 月 20 日）に続いて 2 回連続。

タイ：製造業生産(季節調整値)



タイの主要経済指標

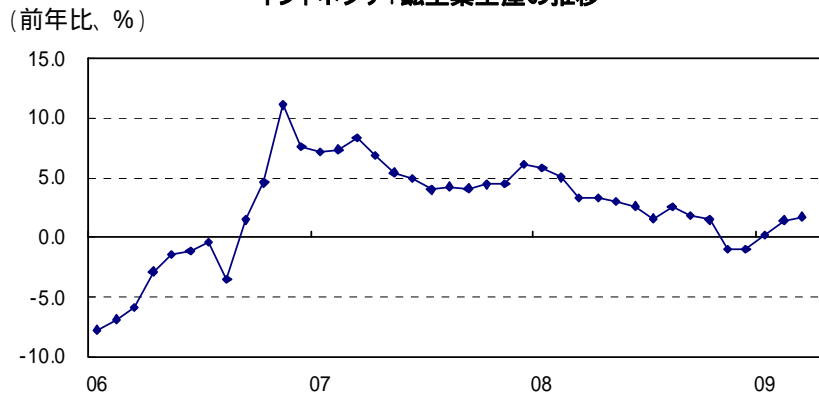
		2006年	2007年	2008年	08/3Q	08/4Q	09/1Q	09/2Q	09/3月	09/4月	09/5月	09/6月
GDP (yoy)	実質 GDP	5.2	4.9	2.6	3.9	4.2	7.1					
	民間消費	2.9	2.7	2.2	1.7	3.3	1.8					
	総固定資本形成	3.9	1.3	1.1	0.6	3.3	15.8					
生産	製造業生産指数(yoy)	7.3	8.2	5.3	7.6	8.0	18.5		14.6	9.7	10.0	
消費	総合消費指数(yoy)	2.3	1.5	3.5	5.1	0.6	5.3		4.9	5.3	4.7	
投資	民間企業投資指数(yoy)	2.2	0.5	3.5	3.6	0.4	13.3		16.1	16.4	16.5	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	0.9	13.9	1.4	0.5	1.5	7.1	3.9	2.1	0.6	2.4	0.9
	輸出(yoy)	16.9	18.6	15.5	26.1	10.7	20.5	26.2	23.1	26.1	26.6	25.9
	輸入(yoy)	9.0	8.7	28.1	40.1	6.1	37.6	33.3	35.1	36.3	34.7	29.3
国際収支	経常収支(10億ドル)	2.3	14.0	0.2	1.3	2.0	9.1		2.4	0.4	1.4	
	外貨準備高(10億ドル)	65.1	85.1	108.3	99.9	108.3	113.4	117.9	113.4	114.1	118.5	117.9
雇用	失業率(季調前)	1.5	1.4	1.4	1.2	1.3	2.1		1.9	2.1	2.4	
物価	消費者物価(総合,yoy)	4.6	2.2	5.5	7.3	2.1	0.2	2.8	0.2	0.9	3.3	4.0
	消費者物価(コア,yoy)	2.3	1.1	2.3	3.0	2.0	1.6	0.1	1.5	1.0	0.3	1.0
金融	マネーサプライ(broad M,yoy)	8.2	6.3	9.2	4.7	9.2	9.0		9.0	9.1	9.2	
	株価指数(SET)	680	858	450	597	450	432	597	432	492	560	597
	1ヶ月間の金利(3M)	5.15	4.04	3.56	3.79	3.70	2.14	1.47	1.80	1.57	1.44	1.40
	為替レート(円/US\$)	37.9	34.5	33.3	33.8	34.8	35.3	34.7	35.7	35.4	34.5	34.1
	為替レート(円/TH\$)	3.1	3.4	3.1	3.2	2.8	2.6	2.8	2.7	2.8	2.8	2.8

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)

2. インドネシア経済の概況

- ・ 景気に下げ止まりの兆しが見える。輸出は世界的な景気減速の影響から大幅な鈍化が続いているが、投資動向を示すセメント消費量は6月には前年比2.0%減と前月（同 14.4%減）から大幅にマイナス幅が縮小した。これは省庁間の調整難航から予算執行が遅れていたインフラ投資が始まったためと見られる。
- ・ また物価の安定に加えて、総選挙（4月）、大統領選（7月）と選挙が続く中で関連の消費による押し上げ効果もあり、消費は堅調に推移している。ユドヨノ大統領再選による消費者信頼感の一段の改善は、利下げと相まってさらに消費を押し上げると見られる。インドネシア中銀は7月3日の月例総裁会合で物価の安定を背景に一段の内需テコ入れのため、昨年12月以降8カ月連続となる利下げを実施した（7.00% → 6.75%、利下げ幅は8回合計で2.75%ポイント）。

インドネシア: 鉱工業生産の推移



(出所) CEIC (注) 3ヶ月移動平均値の前年比。

インドネシアの主要経済指標

		2006年	2007年	2008年	08/3Q	08/4Q	09/1Q	09/2Q	09/3月	09/4月	09/5月	09/6月
GDP (yoy)	実質 GDP	5.5	6.3	6.1	6.4	5.2	4.4					
	民間消費支出	3.2	5.0	5.3	5.3	4.8	5.8					
	総固定資本形成	2.6	9.4	11.7	12.2	9.1	3.5					
生産	製造業生産 (yoy)	1.6	5.6	2.7	1.6	0.5	0.2					
消費	小売売上 (yoy)	4.0	10.4	0.1	7.5	16.4	0.1		5.9	4.2	4.3	
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	39.7	39.6	8.1	0.8	2.1	3.9		2.1	1.7	1.4	
	輸出 (yoy)	17.7	13.2	20.1	27.9	5.6	31.8		28.3	22.6	28.3	
	(除く石油ガス, yoy)	19.8	15.6	17.3	23.9	0.5	25.3		20.7	14.7	15.8	
	輸入 (yoy)	5.8	22.0	73.1	81.8	31.7	35.8		36.2	42.4	32.7	
国際収支	経常収支 (10億ドル)	10.9	10.5	0.3	0.9	0.7	1.8					
	外貨準備高 (10億ドル)	40.7	54.6	49.2	54.6	49.2	52.2	54.9	52.2	54.0	55.2	54.9
物価	消費者物価 (yoy)	13.1	6.4	9.8	12.0	11.5	8.6	5.6	7.9	7.3	6.0	3.7
金融	マネーサプライ (M2, yoy)	14.9	19.3	14.9	17.2	14.9	20.2		20.2	18.7		
	株価指数 (総合)	1,806	2,746	1,355	1,833	1,355	1,434	2,027	1,434	1,723	1,917	2,027
	中銀債金利 (3ヵ月)	11.7	8.0	9.5	9.8	11.5	9.3	7.5	8.6	7.9	7.4	7.0
	為替レート (北アドル)	9,141	9,164	9,757	9,216	11,365	11,637	10,426	11,575	10,713	10,340	10,225
	為替レート (円/100北ア)	1.27	1.28	1.05	1.17	0.83	0.82	0.93	0.85	0.91	0.93	0.94

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)、輸入は08年以降、保税区分合算ベース。消費者物価は08年以降、2007年 = 100基準。

3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標

【マレーシアの主要経済指標】

		2006年	2007年	2008年	08/3Q	08/4Q	09/1Q	09/2Q	09/3月	09/4月	09/5月	09/6月
GDP (yoy)	実質GDP	5.8	6.2	4.6	4.8	0.1	6.2					
	民間消費	6.8	10.4	8.5	8.2	5.3	0.7					
	総固定資本形成	7.5	9.6	0.8	3.1	10.2	10.8					
生産	鉱工業生産(yoy)	4.8	2.3	0.5	1.4	9.1	14.4		12.6	11.7	11.1	
消費	自動車販売台数(yoy)	11.1	0.7	12.5	10.5	8.3	8.0	11.1	3.4	17.2	8.3	7.7
輸出入	貿易収支(10億ドル)	29.5	29.2	42.6	12.5	9.2	9.0		3.4	2.0	2.8	
	輸出(yoy)	13.4	9.6	13.1	21.3	12.6	28.9		26.9	35.5	35.8	
	輸入(yoy)	14.7	12.0	6.6	14.3	17.1	36.9		38.4	32.1	34.0	
国際収支	経常収支(10億ドル)	26.2	29.2	38.9	11.6	8.3	8.7					
	外貨準備高(10億ドル)	78	95	86	105	86	82	85	82	82	82	85
雇用	失業率(%)	3.3	3.2	3.3	3.1	3.1	4.0					
物価	消費者物価(yoy)	3.6	2.0	5.4	8.4	5.9	3.7	1.3	3.5	3.0	2.4	1.4
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	17.1	9.5	13.4	15.6	13.4	9.3		9.3	6.6	5.3	
	株価指数(総合)	1,096	1,445	877	1,019	877	873	1,075	873	991	1,044	1,075
	インターバンク金利(1M,%)	3.54	3.54	3.53	3.56	3.45	2.51		2.05	2.05	2.06	
	為替レート(リキ/ドル)	3.67	3.44	3.33	3.34	3.56	3.63	3.55	3.67	3.61	3.52	3.52
	為替レート(円/リキ)	31.7	34.2	30.9	32.2	27.0	25.8	27.4	26.6	27.4	27.4	27.4

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、鉱工業生産は2005年基準。消費者物価は06年以降、2005年 = 100基準。

【フィリピンの主要経済指標】

		2006年	2007年	2008年	08/3Q	08/4Q	09/1Q	09/2Q	09/3月	09/4月	09/5月	09/6月
GDP (yoy)	実質GDP	5.3	7.1	3.8	4.6	2.9	0.4					
	民間消費支出	5.5	5.8	4.7	4.4	5.0	0.8					
	固定資本形成	3.9	10.9	2.9	7.1	0.1	5.7					
生産	鉱工業生産(yoy)	1.6	3.4	4.5	10.4	0.2	16.9		9.9	17.0	13.1	
消費	自動車販売台数(yoy)	2.5	18.5	5.6	9.0	10.5	1.2	4.3	1.1	9.8	4.1	1.3
輸出入	貿易収支(10億ドル)	4.4	5.0	7.7	2.5	1.2	1.7		0.4	0.2	0.5	
	輸出(yoy)	14.9	6.4	2.8	4.1	22.3	36.8		30.8	35.2	26.9	
	輸入(yoy)	9.2	7.2	2.2	7.1	25.4	34.3		36.2	37.4	24.3	
国際収支	経常収支(10億ドル)	5.3	7.1	4.2	0.3	2.3	2.2		0.7			
	外貨準備高(10億ドル)	23.0	33.7	36.0	35.8	36.0	37.5	38.5	37.5	37.8	38.5	38.5
雇用	失業率(%)	8.0	7.3	7.4	7.4	6.8	7.7					
物価	消費者物価(yoy)	6.3	2.8	9.3	12.2	9.7	6.9	3.2	6.4	4.8	3.3	1.5
金融	マネーサプライ(yoy)	n.a.	n.a.	15.6	13.5	15.6	15.6		15.6	13.7	15.0	
	株価指数(総合)	2,983	3,622	1,873	2,570	1,873	1,986	2,438	1,986	2,104	2,389	2,438
	インターバンク金利(3ヵ月,%)	7.37	6.25	5.69	5.00	4.84	5.08	4.13	4.78	4.37	4.09	3.93
	為替レート(ペソ/ドル)	51.3	46.1	44.5	45.5	48.4	47.7	47.9	48.5	48.2	47.5	47.9
	為替レート(円/ペソ)	2.27	2.55	2.31	2.36	1.98	1.96	2.03	2.01	2.05	2.03	2.02

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、マネーサプライは2007年までM2、2008年以降はM3。

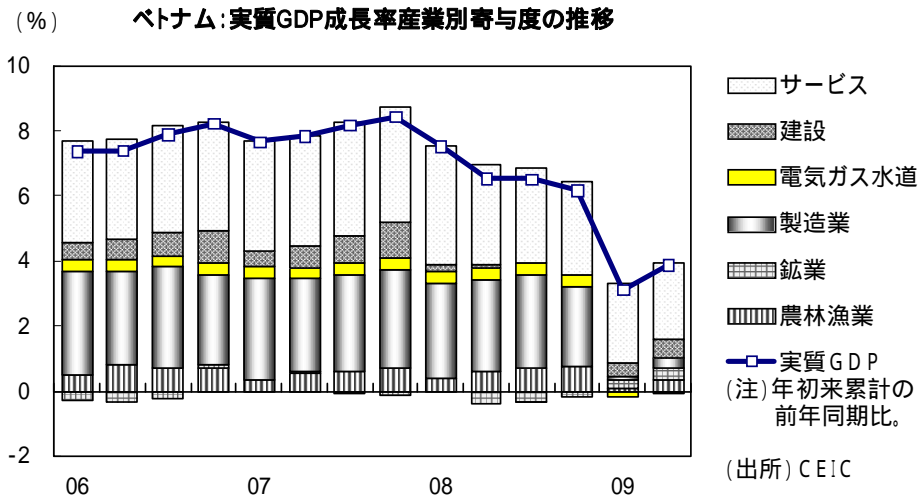
【シンガポールの主要経済指標】

		2006年	2007年	2008年	08/3Q	08/4Q	09/1Q	09/2Q	09/3月	09/4月	09/5月	09/6月
GDP (yoy)	実質GDP	8.4	7.8	1.1	0.0	4.2	r 9.6	p 3.7				
	民間消費	4.0	5.2	2.4	2.7	1.2	5.1					
	総固定資本形成	13.3	19.2	13.7	14.9	9.9	14.8					
生産	鉱工業生産(yoy)	11.9	5.9	4.2	10.9	10.7	24.2	2.4	32.6	0.8	2.1	9.3
消費	小売売上指数(yoy)	7.2	3.8	1.8	1.3	4.5	10.3		8.3	13.4	12.4	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	33.1	36.3	18.3	5.6	2.0	4.0	5.6	2.7	2.4	1.6	1.6
	輸出(yoy)	18.2	10.1	12.7	21.1	13.9	32.7	30.7	28.2	33.0	30.7	28.5
	輸入(yoy)	19.1	10.2	21.3	32.8	9.1	32.5	33.5	34.9	37.5	32.4	30.5
国際収支	経常収支(10億ドル)	35.4	39.2	27.0	7.9	4.5	4.0					
	外貨準備高(10億ドル)	136	163	174	169	174	166	173	166.3	170	172	173
雇用	失業率(季調値,%)	2.7	2.1	2.2	2.3	2.5	3.3					
物価	消費者物価(yoy)	1.0	2.1	6.5	6.6	5.4	2.1	0.5	1.6	0.7	0.3	0.5
金融	マネーサプライ(M2,%)	19.4	13.4	12.0	10.4	12.0	11.5		11.5	9.7	11.3	
	株価指数(ストイト)	2,986	3,482	1,762	2,359	1,762	1,700	2,333	1,700	1,920	2,329	2,333
	インターバンク金利(3M,%)	3.46	2.72	1.30	1.36	1.02	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69
	為替レート(Sドル/ドル)	1.59	1.51	1.41	1.40	1.49	1.51	1.47	1.53	1.50	1.46	1.45
	為替レート(円/Sドル)	73.2	78.1	72.8	77.0	64.5	61.8	66.0	63.9	65.6	66.0	66.5

(出所) CEIC 他 (注) yoy = 前年比(%)、輸出入伸び率は米ドル建てベース。

4. ベトナム経済の概況

- ・ 政府の景気刺激策により景気悪化に歯止めがかかったようだ。1～6月期の実質GDP成長率は前年比3.9%と1～3月期の3.1%から持ち直した。サービス業の堅調に加えて、農林漁業、製造業、建設業の成長寄与度が高まっている。
- ・ 世界的な景気減速の影響から輸出は6月も前年比14.5%減と大幅な減少が続いている。ただし、数量ベースでは、原油、コメなど主要一次産品の1～6月期の輸出は前年比二桁増が続いている。輸出単価が昨年前半の一次産品価格高騰の反動から足元、前年比大幅マイナスで推移しているため、金額ベースでは前年比減となっている。
- ・ 消費者物価上昇率は食品価格の安定を背景に、6月は前年比3.9%に低下した。物価が3%台に低下するのは2004年1月(同3.2%)以来である。ただし、前月比ベースではジリ高傾向が見られ、中銀は早くもインフレ警戒モードに入っている。



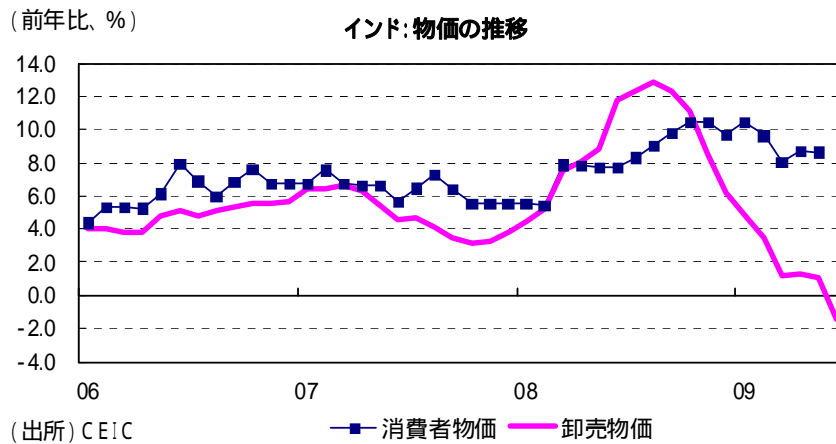
ベトナムの主要経済指標

		2006年	2007年	2008年	08/3Q	08/4Q	09/1Q	09/2Q	09/3月	09/4月	09/5月	09/6月
GDP (yoy)	実質GDP	8.2	8.4	6.2	6.5	6.2	3.1	3.9				
	農業生産	3.7	3.7	4.1	3.8	4.1	0.6	1.7				
	鉱工業・建設生産	10.4	10.2	6.1	7.0	6.1	1.4	3.0				
生産	鉱工業生産(ytd, yoy)	18.0	16.7	13.6	17.6	13.6	4.4	0.5	4.4	2.9	1.5	0.5
消費ytd	小売売上(名目, yoy)	20.9	23.3	31.0	30.1	31.0	21.9	20.0	21.9	21.5	21.0	20.0
輸出入	貿易収支(10億ドル)	4.6	10.0	16.3	1.3	1.6	1.5	3.6	0.3	1.2	1.3	1.2
	輸出(yoy)	24.7	24.2	25.3	37.6	5.7	4.2	15.0	13.0	16.1	14.3	14.5
	輸入(yoy)	19.9	33.9	31.7	22.7	8.9	37.2	24.8	28.0	30.5	29.1	13.2
国際収支	経常収支(10億ドル)	0.2	7.0	9.2								
	外貨準備高(10億ドル)	13	23	24	24	24						
物価	消費者物価(yoy)	7.5	8.3	23.1	27.8	23.6	14.4	6.2	11.2	9.2	5.6	3.9
金融	株価指数(VN index)	752	927	316	457	316	281	448.3	281	322	412	448
	プラット(翌日物:期末)	8.25	8.25	11.25	14.00	10.83	7.50	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00
	為替レート(ドン/ドル)	15,971	16,127	16,346	16,502	16,657	16,967	16,943	16,954	16,937	16,938	16,953
	為替レート(円/100ドン)	0.73	0.73	0.63	0.65	0.58	0.55	0.57	0.58	0.58	0.57	0.57

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、GDP、生産、小売、貿易統計の四半期、月次はいずれも年初来累計ベース(ytd)。

5. インド経済の概況

- ・ 政府の景気対策が奏功し、景気に下げ止まりの兆しが見える。5月の鉱工業生産は耐久消費財生産の大幅な拡大から前年比2.7%増となった。実際、新モデルの投入、金利の低下などを追い風に6月の自動車販売は前年比13.5%増と大幅に拡大している。また二輪車販売も農村部での需要拡大から同14.9%増と好調であった。
- ・ 6月の卸売物価上昇率が前年の燃料価格上昇に伴う高騰の反動から前年比1.4%とマイナスに転じた。一方、食品価格のウェイトが46%と大きい消費者物価は、天候要因などを背景とした食糧需給の逼迫から5月には同8.6%に上昇している。インド中銀も7月28日物価見通しを引き上げたが景気配慮から政策金利は据え置いた。
- ・ 7月6日に2009年度(09年4月～10年3月)予算案が発表された。事前に期待された外資規制の緩和などは見送られたが、インフラ投資に加え、農村支援に重点を置いた内容はインド経済の底上げをもたらすものと見られている。



インドの主要経済指標

		2006年	2007年	2008年	08/3Q	08/4Q	09/1Q	09/2Q	09/3月	09/4月	09/5月	09/6月
GDP (yoy)	実質GDP	9.9	9.3	7.5	7.7	5.8	5.8					
	農業生産	4.1	5.7	1.5	2.7	0.8	2.7					
	実質GDP(年度)	9.7	9.0	6.7								
	農業生産(年度)	4.0	4.9	1.6								
生産	鉱工業生産(yoy)	10.5	9.9	4.4	4.7	0.8	0.1		0.8	1.2	2.7	
消費	自動車販売台数(yoy)	16.7	0.2	2.6	14.1	10.4	1.3	10.0	0.5	8.1	8.4	13.5
輸出入	貿易収支(10億ドル)	51.8	69.7	114.6	37.4	28.2	11.3		4.0	5.0	5.2	
	輸出(yoy)	21.4	21.5	20.8	25.5	12.1	28.1		33.3	33.2	29.2	
	輸入(yoy)	20.9	25.4	34.8	53.2	5.8	32.5		34.0	36.6	39.2	
国際収支	経常収支(10億ドル)	9.3	11.3	36.1	12.5	13.0	4.7					
	外貨準備高(10億ドル)	170.2	266.6	246.6	277.3	246.6	241.2		241.2	241.5	251.5	
物価	卸売物価(yoy)	4.8	4.8	9.1	12.5	8.6	3.2	0.3	1.2	1.3	1.0	1.4
	消費者物価(yoy)	6.3	6.4	8.3	9.0	10.2	9.4		8.0	8.7	8.6	
金融	M3(yoy)	19.3	22.8	19.7	18.9	19.7	18.8	20.6	18.8	20.7	20.6	20.6
	株価指数(BSE Sensitive)	13,787	20,287	9,647	12,860	9,647	9,709	14,494	9,709	11,403	14,625	14,494
	TB3ヶ月	6.40	7.17	7.65	8.99	6.43	4.83	3.32	4.95	3.32	3.32	3.32
	為替レート(ルピー/ドル)	45.3	41.2	43.8	44.4	49.2	50.2	48.5	51.0	50.2	47.3	47.9
	為替レート(円/ルピー)	2.56	2.85	2.33	2.42	1.92	1.89	1.99	1.93	1.93	2.05	2.00

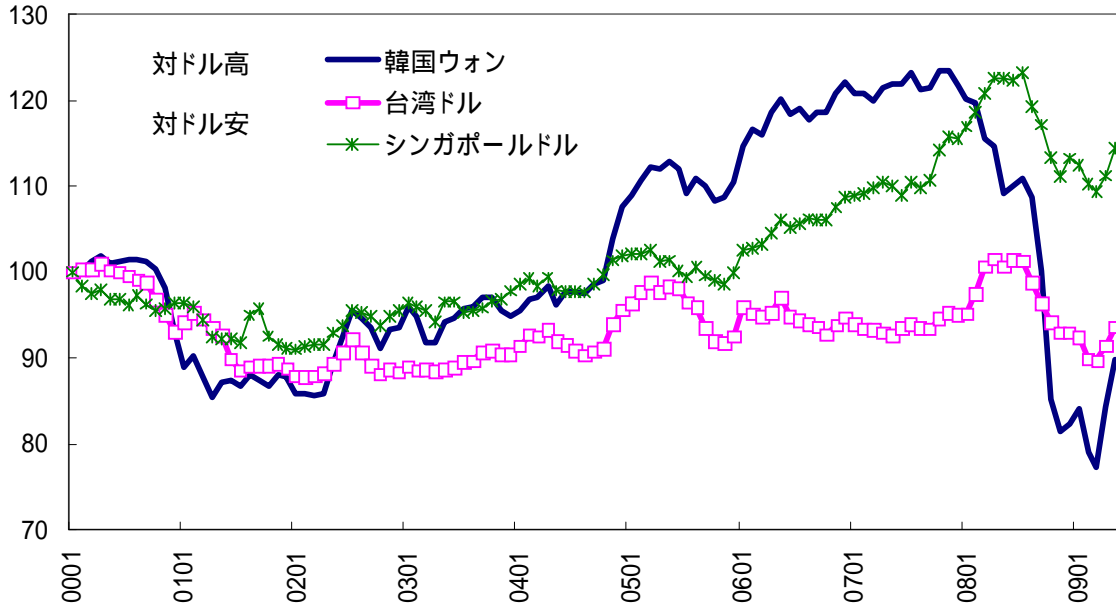
(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、年度は4月から翌年3月。

アジア通貨・株価動向

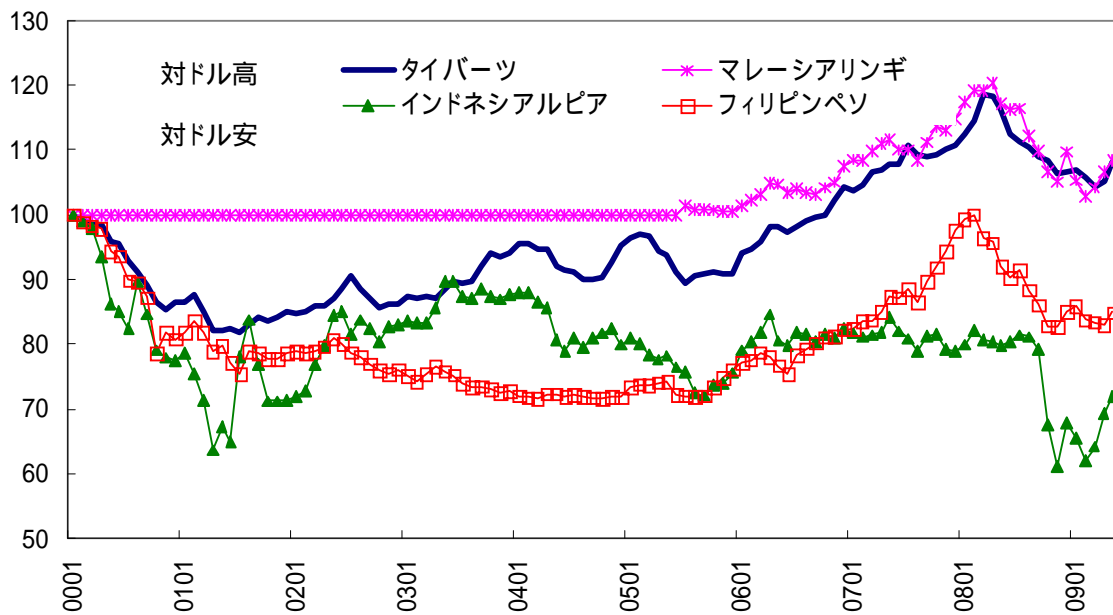
アジア通貨の対ドル相場の推移

< 2000年1月 = 100 >

(2000年1月 = 100)

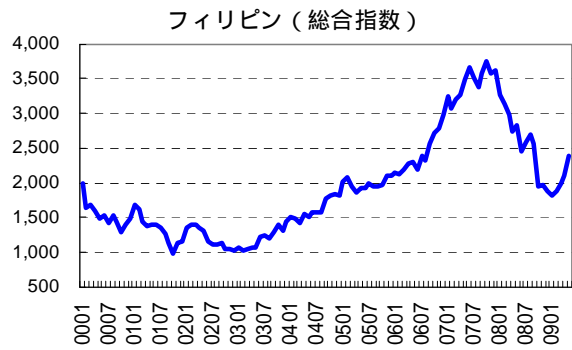
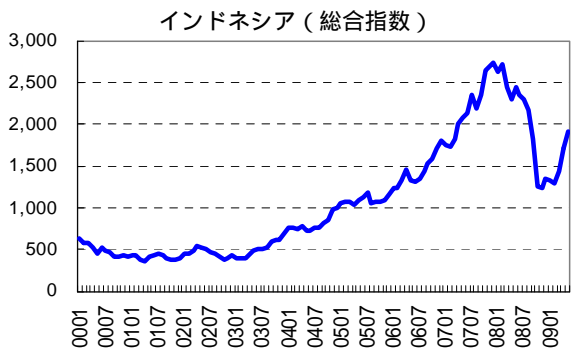
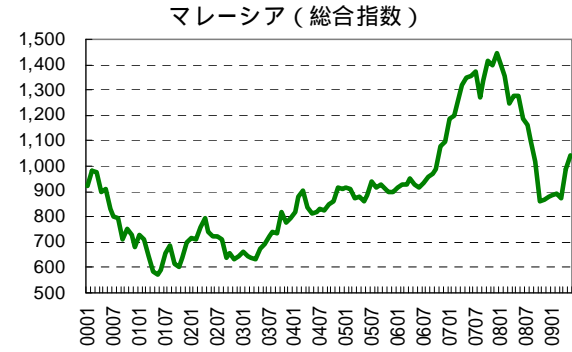
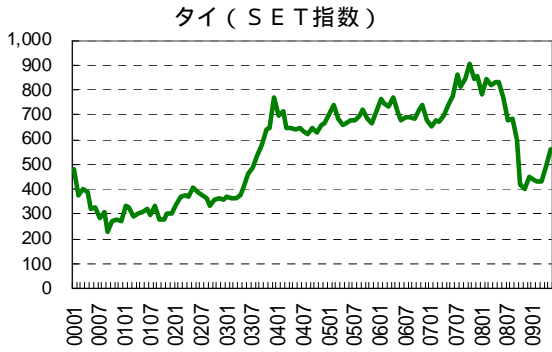
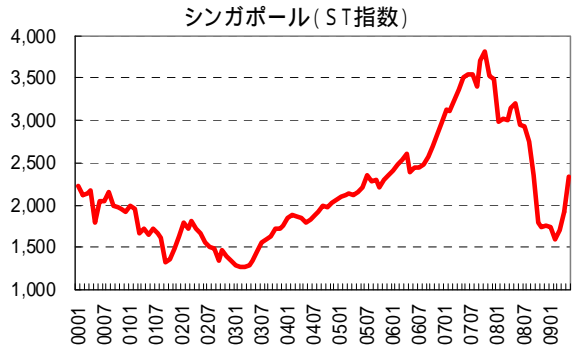
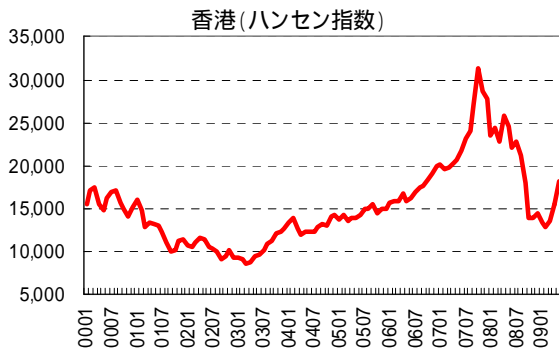
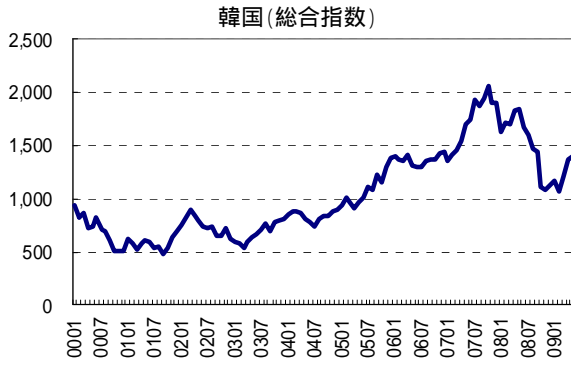


(2000年1月 = 100)



(出所) CEIC

アジア諸国の株価動向（月末値）



(出所) CEIC

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、弊社はその正確性を保証するものではありません。また執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一的な見解ではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。当資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されております。一部を引用する際は必ず出所（弊社名、レポート名等）を明記して下さい。全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、弊社までご連絡下さい。